



持続可能なまちづくりに向けて

神崎町議会議長 高柳 智

春

未来に続くまちづくりを目指して

神崎町長 椿 等



新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様におかれましては、健やかな希望に満ちた新しい年を迎えられたことお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが5類へと移行し、様々な規制が解除される一方で、国際情勢の不安定化等による物価高騰が続く、我が国経済や私たちの生活は大きな影響を受けた年でした。

こうした状況下、町では5年ぶりとなる「発酵の里こうざき 酒蔵まつり」を3月17日に開催することとなりました。コロナ禍以前にも増して、「発酵の里こうざき」を堪能していただき、賑わいのある町おこしイベントとなるよう準備を進めて参ります。

また、神崎町内に元気と活気と笑顔があふれる「第3回神崎発酵マラソン大会」も5月19日に開催する予定です。両会場周辺の皆様には、あらためてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

更に、圏央道の4車線化とパーキングエリアの整備に対応するよう「道の駅発酵の里こうざき」の施設の改修・拡充工事にも着手いたしました。圏央道PAからの施設利用者だけでなく、町民の皆様にも、楽しんでいただけるようなレストランや発酵市場へと施設が生まれ変わります。加えて芝生広場やドックランなども併設するハイウェイオアシスを目指し計画を進めております。

健康志向の高まりを受け、発酵とオーガニックを掛け合わせた取組を検討しており、まずは町の将来を担う子どもたちの学校給食に地元産有機米を使用する準備を進めております。そして、子育て支援策の一環として、神崎保育所の二室を改修して、要望の多い0〜2歳児受入増員が可能となる環境を春までに整える予定です。

このほか、取り組みべき課題は山積しておりますが、第5次神崎町総合計画が目指す、まちづくりコンセプト「生き生きわくわく人も発酵するまち こうざき」その実現に向け、皆様が、豊かさを感じ、住み続けたいと思えるまちづくりを推進して参りますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに今年一年が皆様にとって、素晴らしい年となることを御祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には輝かしい令和6年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

またこの機会に、議会に対して平素よりご支援いただいている町民の皆様にご心より感謝申し上げます。皆様のご協力なしでは、私たちの使命を果たすことはできません。誠にありがとうございます。

私は、昨年の8月議会において、議長という大役を仰せつかりました。その責任の重さを認識しつつ、町発展のため、大胆かつスピード感をもって、議会改革に最善を尽くす決意で取り組んで参ります。

さて、日本では新型コロナウイルスがインフルエンザ同等扱いとなる「5類」に移行され、日常の生活が戻りつつありますが、世界情勢の不安等により資源不足を起因とする物価高騰が続いており、国民の生活や経済を圧迫しております。それに対して、政府も物価高騰対応重点支援等の予算を組み国民の生活の安定化や経済の活性化に取り組んでおります。

こうした中、本町も他の多くの自治体同様、今まで経験した事のない少子高齢化、人口減少など様々な難題を抱えながら、限られた予算の中で、社会資本の整備、教育や福祉の更なる充実をはじめ、広範かつきめ細かな行政サービスが求められております。議会といたしましても、神崎町の発展と町民のしあわせのために、町民の皆様が力を合わせ、持続可能な明るく活力あるまちづくりにご参画下さいますよう精一杯努力して参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様のご多幸とご健勝をお祈りし、新年のご挨拶といたします。

